

中央防災会議
「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に
関する専門調査会」
(第 7 回)

想定する震源域に関する検討資料（図表集）

平成 17 年 2 月 4 日

中央防災会議事務局

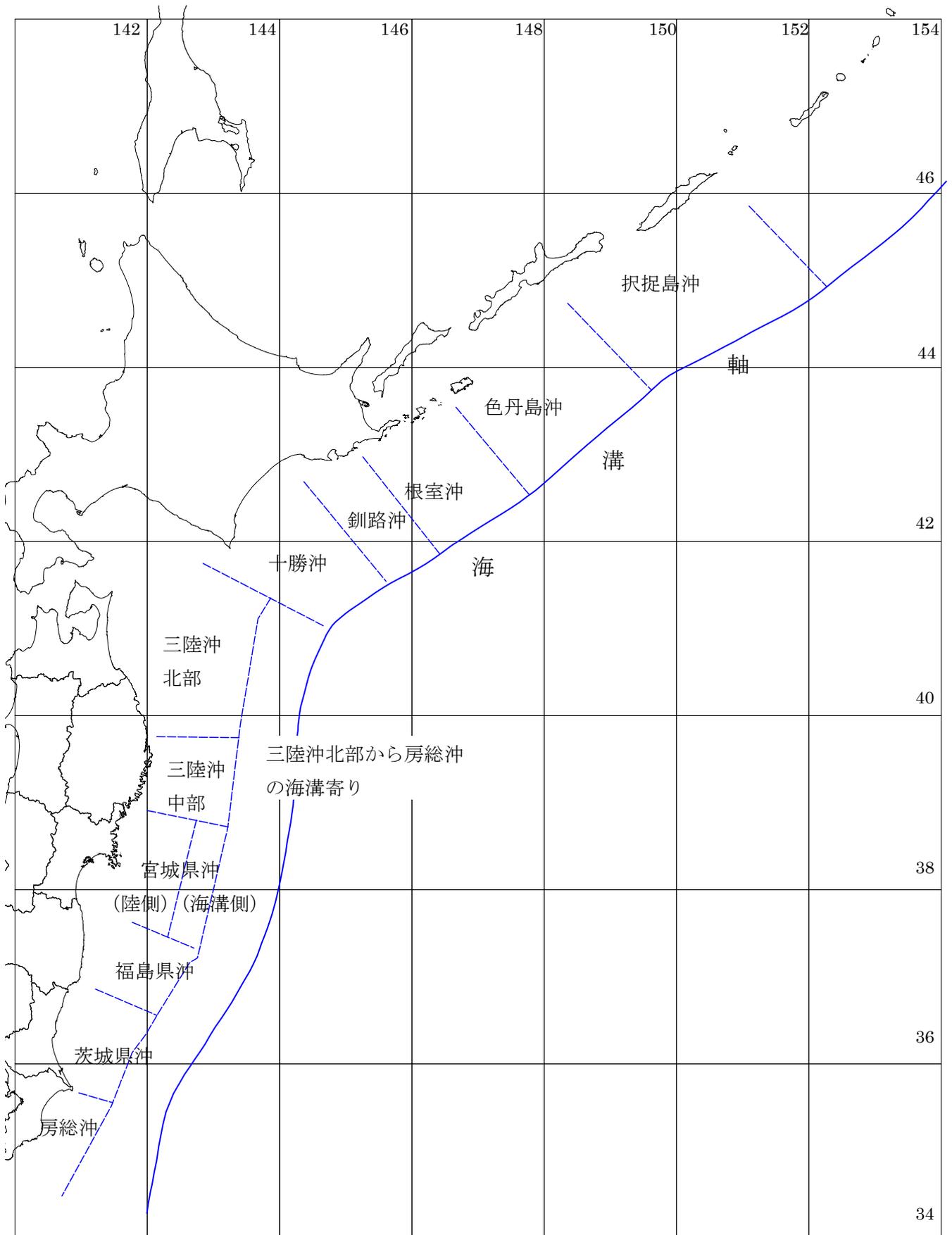
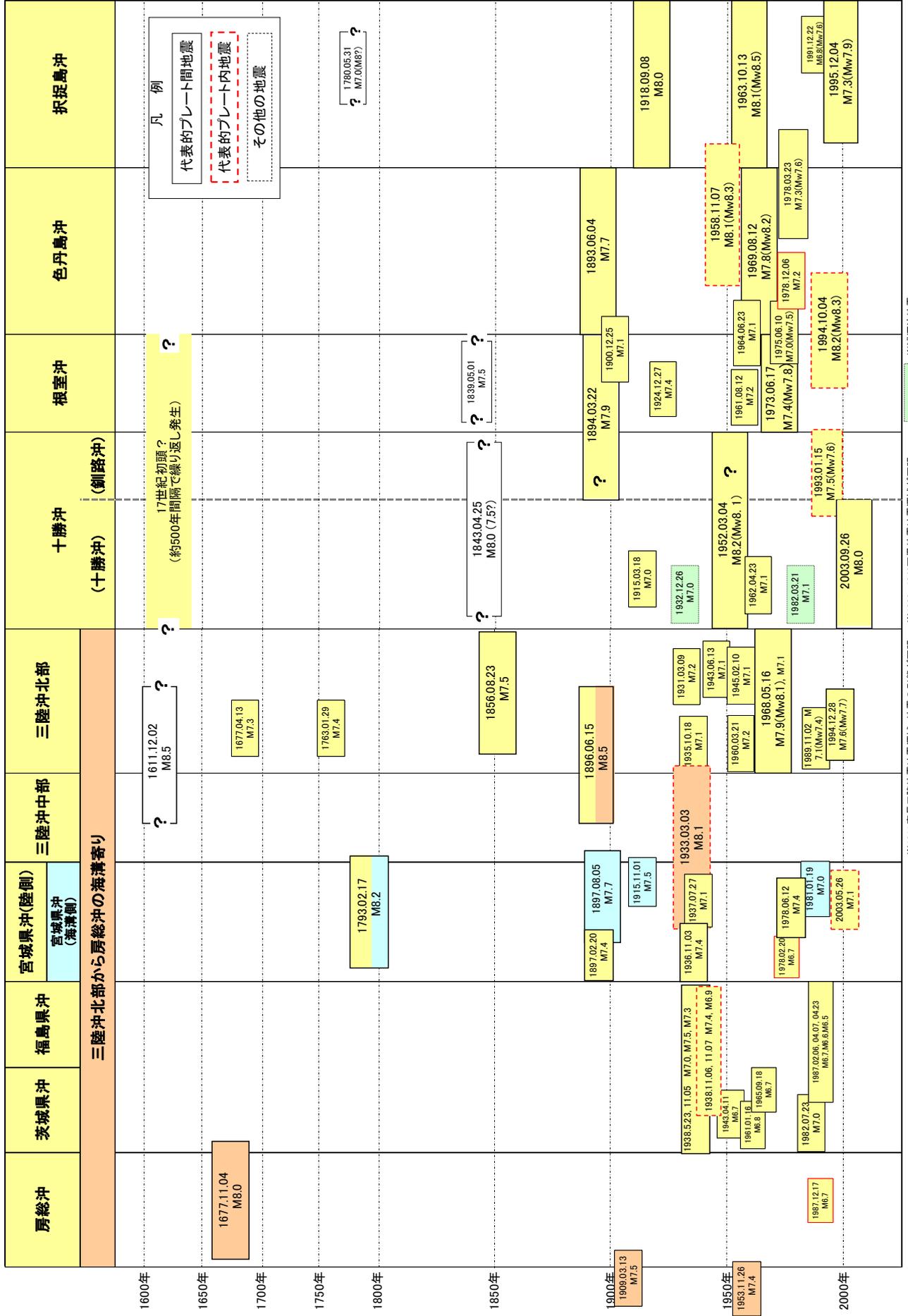


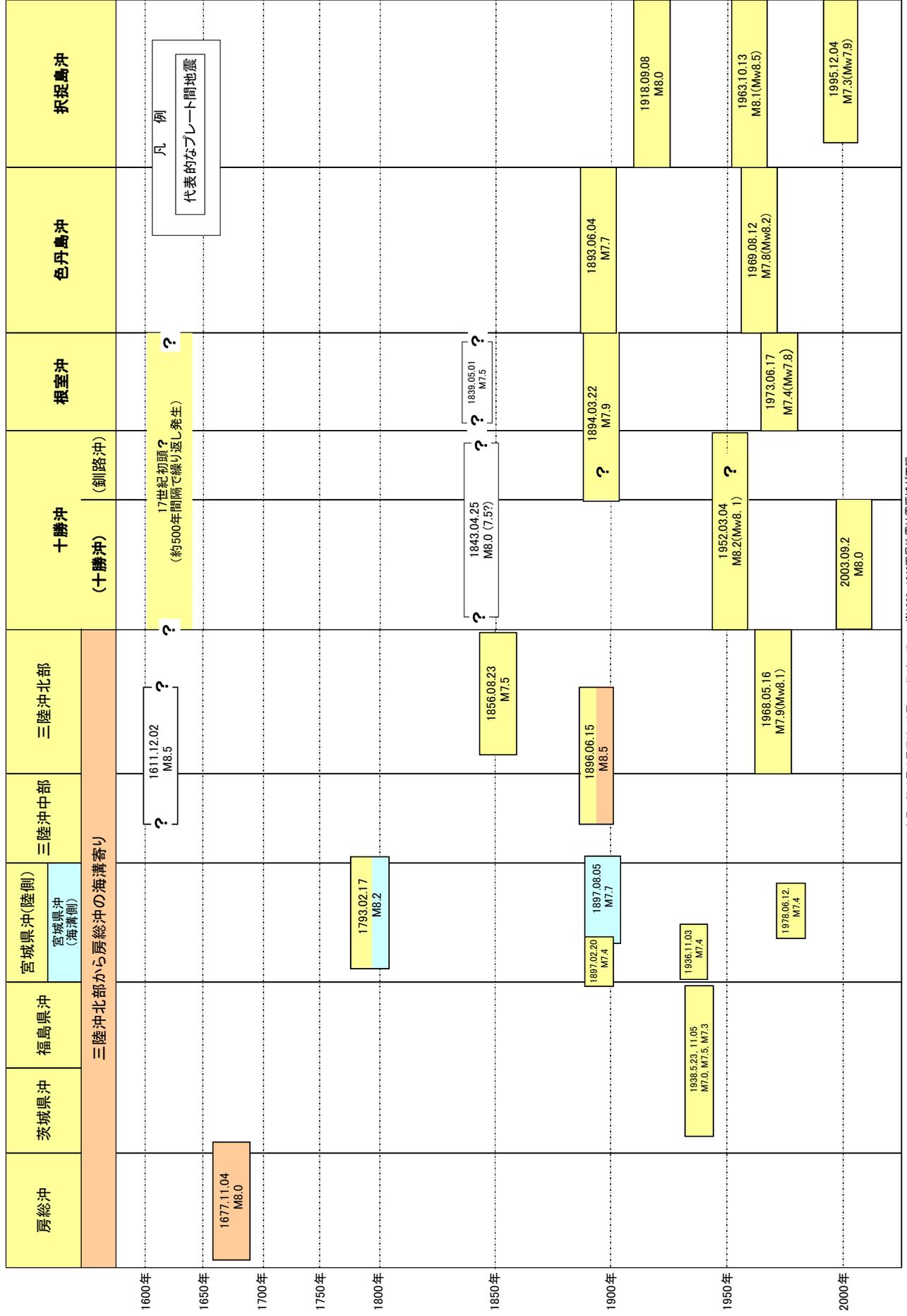
図1 本専門調査会での検討対象地域の領域区分
 (地震調査委員会 (2002. 7、2003, 3) 資料を一部修正)

図2-1 日本海溝・千島海溝周辺の主な地震



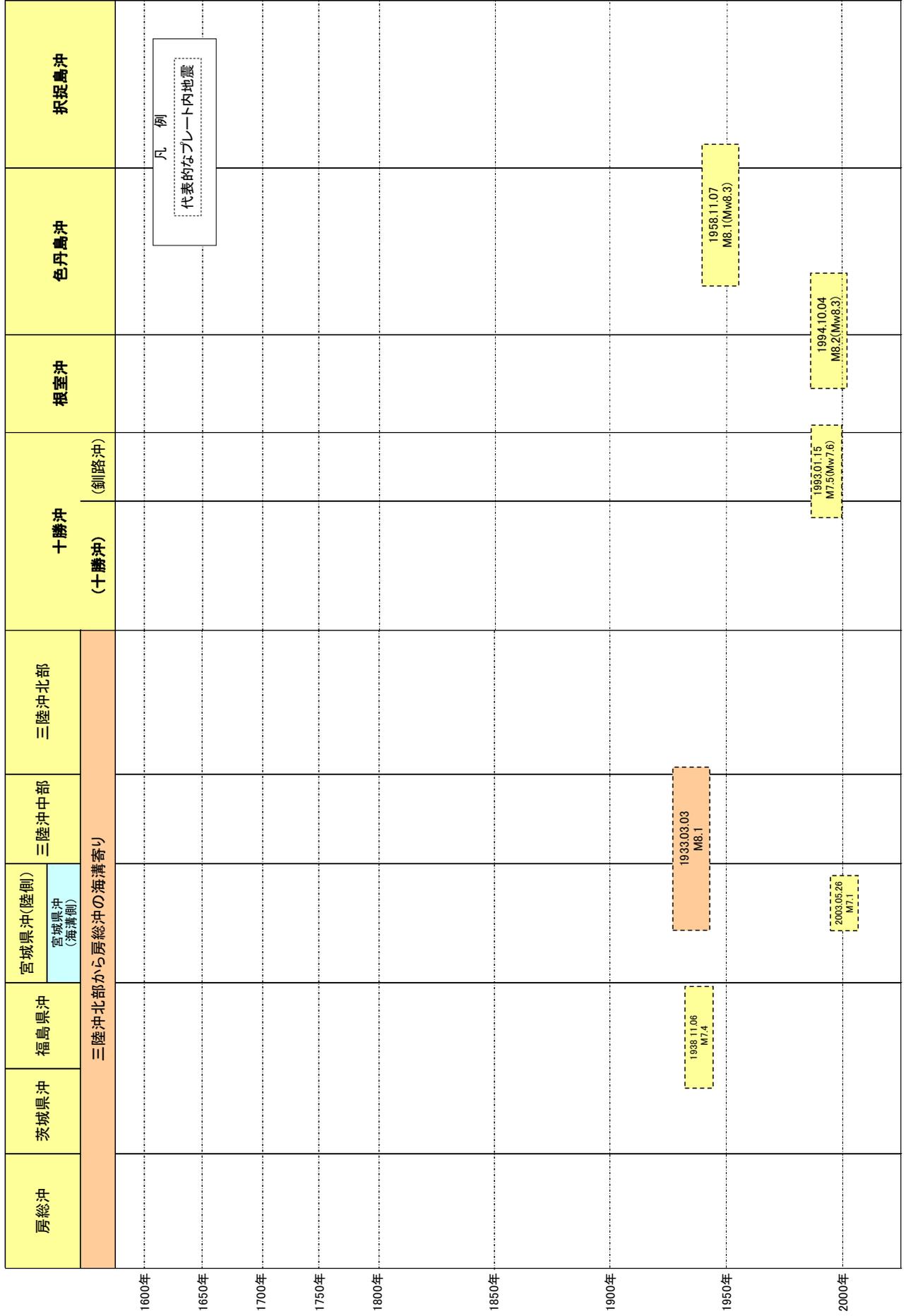
※1611慶長三陸地震は震源域、地震の形態が不明 ※1839、1843天保地震は震源域が不明 ※浦河沖地震

図2-2 日本海溝・千島海溝周辺の代表的なプレート間地震



※1611年三陸地震は震源域、地震の形態が不明 ※1839、1843年三陸地震は震源域が不明

図2-3 日本海溝・千島海溝周辺の代表的なプレート内地震



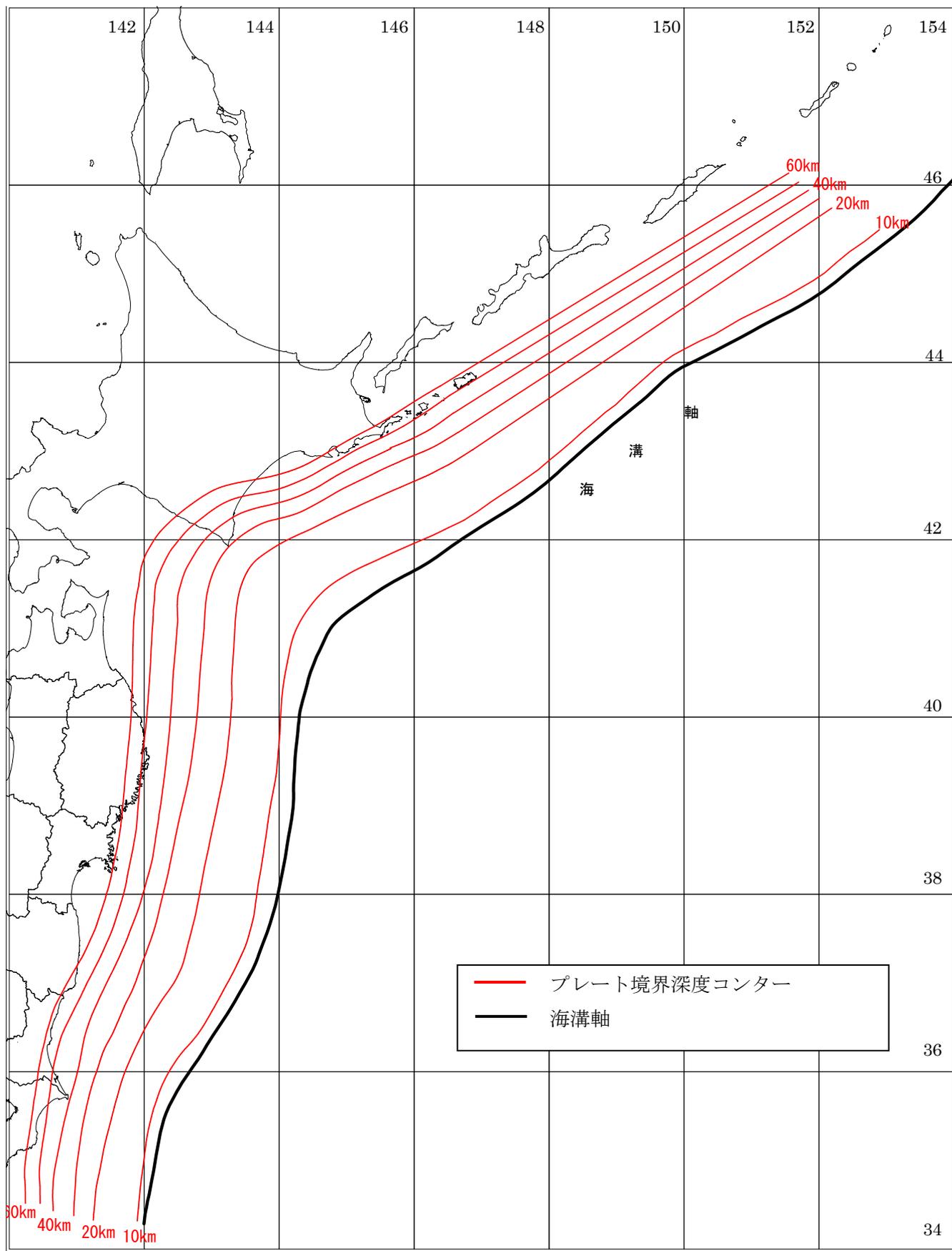


図3 本専門調査会での検討に用いるプレート形状

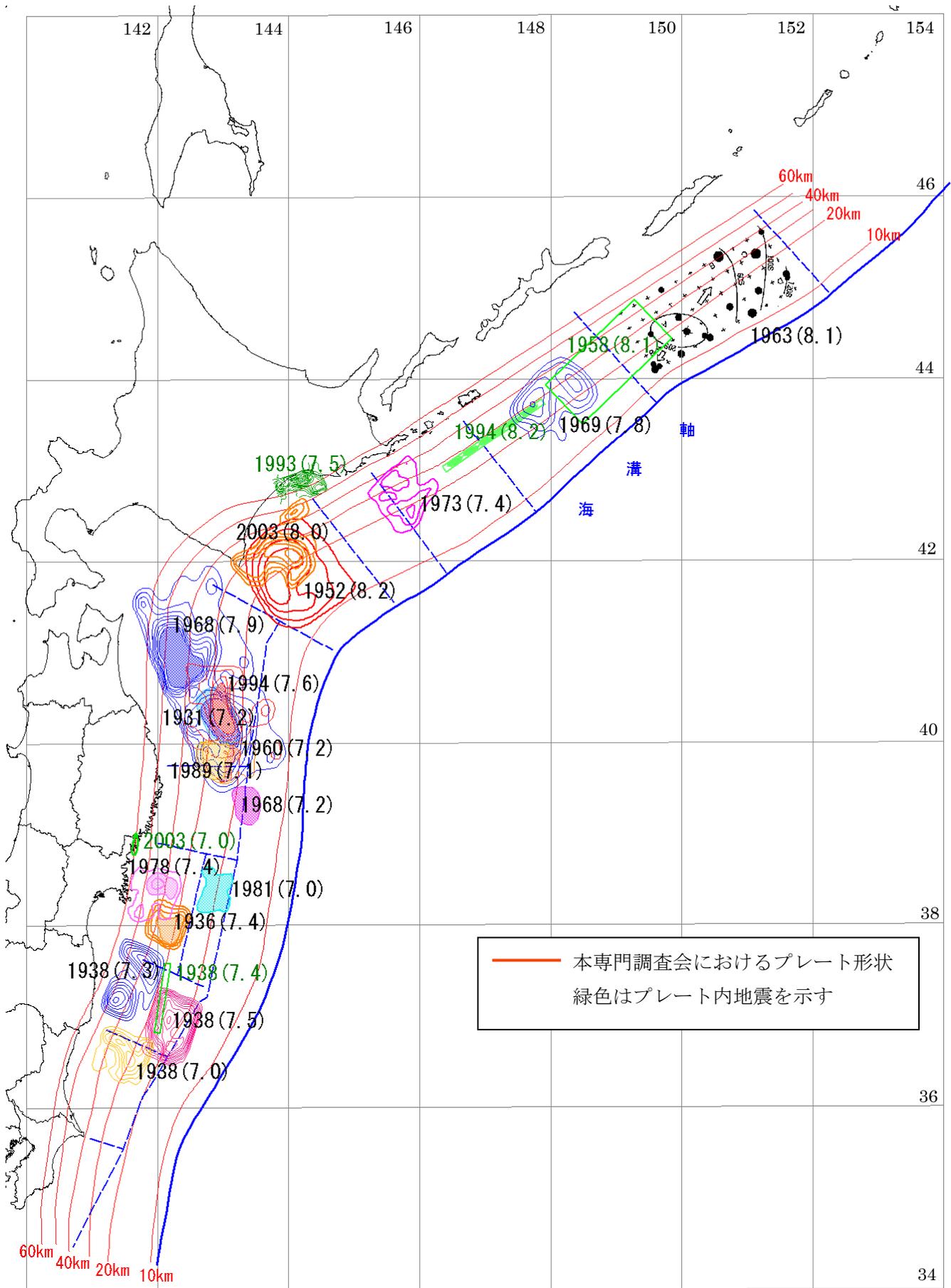


図4-1 日本海溝・千島海溝沿いの既往のアスペリティの分布

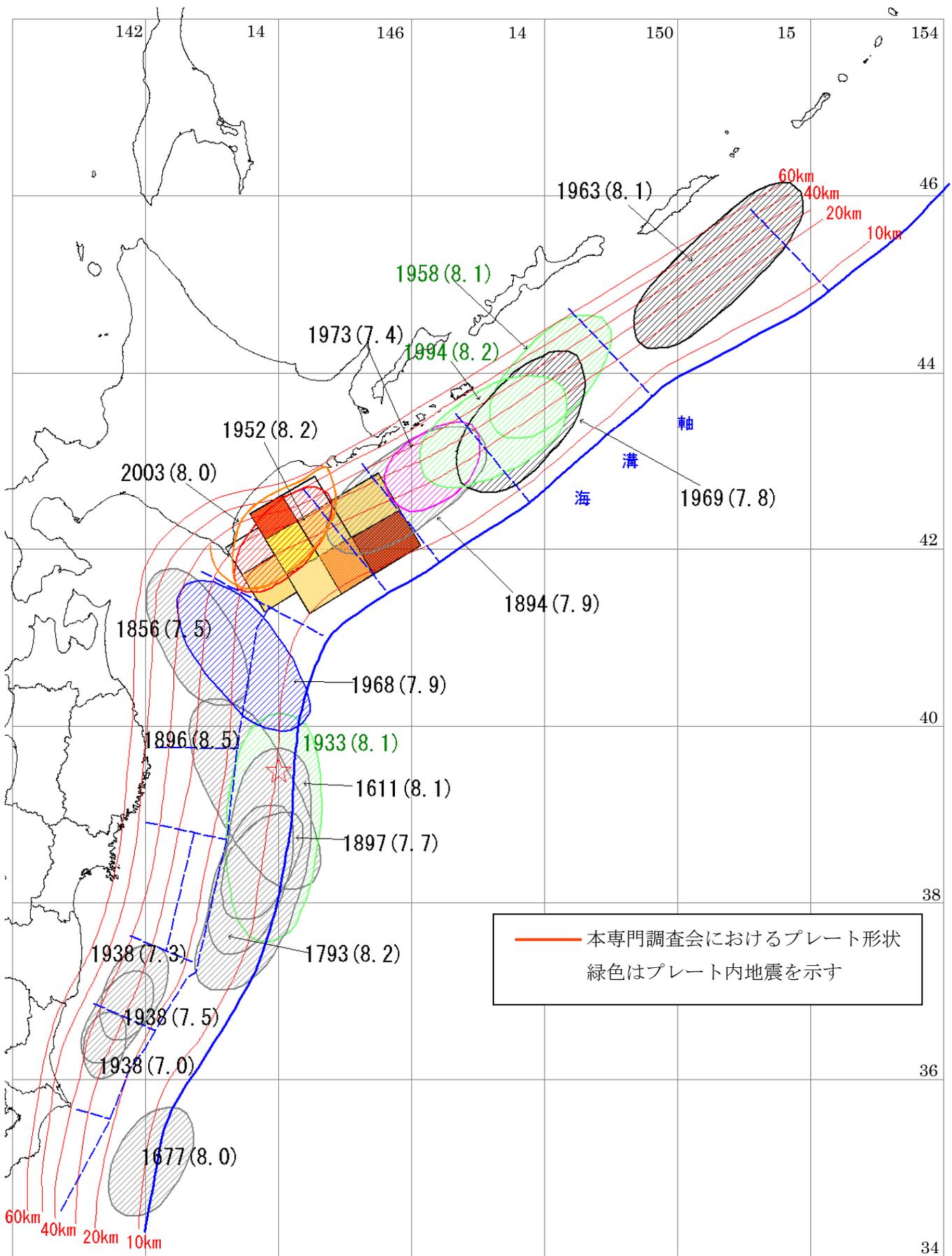


図4-2 千島海溝、日本海溝沿いの既往の波源域の分布

表 1-1 日本海溝、千島海溝周辺の領域特性

()内は気象マグニチュードM

海溝	領域	陸域近くの地震		海溝軸付近の地震	
		プレート内地震	プレート間地震	プレート間地震	プレート内地震 正断層型
千島海溝	択捉島沖		◎ 1918(8.0)/1963(8.1)		
	色丹島沖	◎ 1958(8.1)	○1893(7.7) ◎1969(7.8)		
	根室沖	◎ 1994(8.2)	◎1973(7.8) ◎1894(7.9)		
	釧路沖	○1993(7.5)	◎1952(8.2)		
	十勝沖		◎2003(8.0)		
日本海溝	三陸沖北部		○1677(7.5)/1763(7.4)/1856(7.5)/ 1968(7.9)/1994(7.6)	◎1896(8.5)	
	三陸沖中部				◎ 1933(8.1)
	宮城県沖	○2003(7.0)	◎1793(8.2) ○1897(7.4)/1936(7.5)/1978(7.4) 陸側 ◎1897(7.7)/1915(7.5) 海溝側		
	福島県沖・茨城県沖	○1938(7.4)	○1938(7.0)/1938(7.5)/1938(7.3)		
	房総沖			◎ 1677(8.0)	

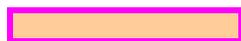
震源域、地震の形態が不明：1611年慶長三陸地震
領域分けに属さない地震：1982年浦河沖地震(7.1)

○1909(7.5)
○1953(7.4)
(範囲外)

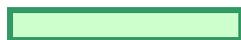
◎: M8級の地震

○: M7級の地震

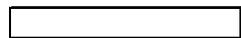
斜め数字: 津波 (m >= 2)



①大きな地震が繰り返し発生している領域



②繰り返しは確認されていないが、大きな地震の発生が確認されている領域



③大きな地震の発生は確認されていない領域。



近接領域と同様の地震発生の可能性を検討する領域。